

第3回市民活動ワークショップ 実施報告

開催日時	平成22年2月23日(火) 18:35~21:15
開催場所	武蔵野スイングビル10階 スカイルーム1, 2, 3
参加者構成	市 民 : 27名(公募) ※申込者42名 アドバイザー: 高山和久(東京ボランティア・市民活動センター統括主任) 事務局 : 8名(武蔵野プレイス開設準備室)
次 第	開会 1. 市民活動関連施設視察(調布)ふりかえり 2. 「ワークショップ実行準備会」実施報告 3. 市民活動フロア検討について(その①「情報」) 4. 事務連絡ほか 閉会
配布資料	資料1 次第 資料2 第3回 武蔵野プレイス市民活動フロア市民ワークショップ参加者名簿 資料3 第1回 ワークショップ実行準備会における 論点整理のまとめ 資料4 第4回、第5回ワークショップ 今後の開催予定について(出席調整表) 資料5 第2回市民活動ワークショップ 実施報告

概要

次第1：市民活動関連施設視察（調布）ふりかえり

〔内 容〕：視察参加者および事務局からの視察報告

〔要 旨〕：

(1) 調布市市民プラザあくろす市民活動支援センター 視察のふりかえり

①視察日：平成22年1月13日(水)

②参加者：17名（市民3名、関係者1名、事務局2名）

③視察施設

名 称：調布市市民プラザあくろす市民活動支援センター

所在地：調布市国領町2-5-15 調布市市民プラザあくろす2F

運 営：社会福祉法人 調布市社会福祉協議会

④ 報告

a) 視察参加者からの報告

- ・ 市民プラザあくろすの1階がスーパーになっており、スーパーの買い物客が公共施設にそのまま足を運べるようになっている。
- ・ 「えんがわ」が1つのキーワードに。施設の中に、昔ながらの縁側のセットが設けられている。セットの周りには、昔のおもちゃや模型が展示されており、セットを作った方の愛着が感じられる。
- ・ 「えんがわファンド」と呼ばれる、市民活動の助成基金がある。何十万という大きな単位のお金ではなく、1万円～3万円程度のささやかな活動に対する支援。
- ・ フリースペースは、仕切り（パーテーション）があったものの、隣の声が気になるというところもあった。しかし、大小グループに合わせてスペースを利用できるのは良かった。
- ・ メールボックスは、市民協働サロンのものに比べて高さがあり、使いやすいと感じた。プレイスでも大きめのメールボックスが欲しいと思った。
- ・ 各団体の広報紙があり、ここにすればいろいろな情報が得られる。
- ・ 小学生が遊んでいたり、高校生が勉強したりしていた。他方、ご年配の方が編み物のサークル活動をしているなど、いろいろな人が集まれるような場所であったのが良かった。
- ・ どのような活動をすればよいのかをアドバイスします、という呼びかけがあった。

b) 事務局からの報告

市民活動センターが入る「調布市市民プラザあくろす」は国領駅北口の駅前再開発に伴いオープンした施設で、他に「男女共同参画推進センター」「産業振興センター」も入る。

市民活動センターの運営は、調布市社会福祉協議会。その豊富な人材ネットワークを活用し、市内の地域福祉センターにランチ（支所）を開設し、それぞれにコーディネーターを配置。小地域単位での決め細やかな市民活動支援を行っている。

次第2:「ワークショップ実行準備会」実施報告

〔内 容〕: 事務局より報告

〔概 要〕: 第1回実行準備会を実施したことについて、報告

日 時: 平成22年1月29日(金) 19:00~21:00

場 所: 武蔵野公会堂第3会議室

参加者: 20名(事務局4名、アドバイザー1名を除く)

議 題: ①「ワークショップ準備の会(仮称)」のあり方、運営について

②第3回ワークショップでの検討内容について

※「ワークショップ実行準備会」とは、毎回のワークショップの準備作業等を行うことを目的として、ワークショップ参加者中の有志で構成する会。

次第3: 市民活動フロア 検討について(その①)

〔内 容〕: 小グループでのKJ法によるワークショップ

〔概 要〕:

(1) 検討テーマの設定

ワークショップ実行準備会から、前回のワークショップの論点を資料3のように「居場所、仲間集」、「環境」、「設備」、「相談」、「情報」、「ミーティング」、「市関連」の7つに整理したことの説明があった。アドバイザーからの提案により、今回のワークショップでは、7つのキーワードのうち、「情報」を取り扱うこととなった。

(2) アクティビティ

①目的: 「情報」に関連した取り組みとして何が挙げられるか、また、それを具体的に実行するためには何が必要かを考えること。

②方法: 7つのグループに分かれて作業を行った。各グループでは、模造紙の左半分には「市民活動フロアの情報に関する取り組みとして、出来たらいいと思われること」を、右半分には「その取り組みを行うために、具体的に必要な方法」を記入した付箋を貼り付けてまとめた。

(3) 発表内容の要旨: 各グループの発表者が紹介した内容は下記のとおり。なお、各グループのまとめた模造紙の内容は別紙のとおり。

【グループ1】

(基本理念)

- ・ そもそも「情報」とは何か、なぜプレイスで「情報」なのか?
- ここでしか得られない
インターネットとは違う、あたたかい情報の伝え方(人とのつながりの中で)
正しく新しい情報の必要性

(取り組み)

- ・ 情報を発信する側同士だけではなく、受け取る側同士のつながりづくり
- ・ 市の後援のない個人であっても、情報を提供できるような仕組みの必要性
- ・ プライバシーに関わる相談に対応できるような設備のあり方(パーティションで仕切る等)

- ・ 「この指とまれ」→ 声をあげる人がいて、それに賛同する人が集まってくる場所や機会

(方法)

- ・ 市民活動団体の集団相談会
- ・ 用がなくても来られる場所に

【グループ2】

(基本理念)

- ・ そもそも、プレイスは文化創造、情報の拠点、知識を創造するところ。そのことを「学習」を通じて行っていくところ。
- ・ これまで図書館は、本からしか学んでこなかった。市民活動は、人から学ぶことが出来る場所になる可能性を持っている。

(取り組み)

- ・ 情報の収集→市民が、どういう団体(個人)・活動があつて、そこへ参加すればなにを学べるのか? という情報の情報を集める。
- ・ 団体・個人の情報をデータベースに登録。データベースのインターネットによる配信や、図書館のレファレンスサービス(司書、コンシェルジュの相談対応)と連携させ、橋渡しをする。そこから学習につながってゆく。

【グループ3】

(取り組み)

- ・ 情報の取得: 講座の開催、市内 NPO の情報を知る、助成金や活動資金の情報、行政や大学など、専門家の持つ情報へのアクセス
- ・ 情報の発信: 自分たちの活動の発信、イベント・教室の開催するときにプレイスの力を借りたい
- ・ 情報の蓄積: 発信された情報の蓄積
- ・ 情報の交換、交流: 参加者同士の交流を通じて、遠隔地の人と Skype を活用した交流

(方法)

- ・ 情報の取得: 紙媒体とインターネット、市報が中心
- ・ 情報の発信: 印刷物、動画で情報を発信する仕組みの構築と、どのようにして動画で情報を発信するのが分かる仕組み
- ・ 情報の蓄積: 個々の団体で情報を集めておくよりも、プレイスに蓄積しておけば、多くの人が情報を活用できるのでは?
- ・ 情報の交換、交流: 人と人とが顔を合わせる場、交流会、各自本を持ち寄って交換して読みあう仕組みなど

【グループ4】

(取り組み)

- ・ 図書館と連携するというメリットを活かして、1人1人が手持ちの本にコメントを付して、プレイスのどこかに置く→コメントの交流をし合える機能。
- ・ 個人の気持ちを表明できるコーナー
- ・ ここへくれば、市民活動のことが分かる

(方法)

- ・ 「市長への手紙」ではなく「市民への手紙」という形で、個人の気持ちを表明する。
→それに対し、twitterのような「つぶやき」が、プレイスというアナログな場で展開される。
- ・ 「みんなの便利帳」の市民活動版のようなものを作る。

【グループ5】

(取り組み)

- ・ 情報の収集：情報交換しやすい仕組みづくり
- ・ 情報収集の段階における、他機関との連携：ボランティアセンター武蔵野、コミセン、市民会館、むさしのFM、市政資料など。
- ・ 図書機能とのリンク
- ・ 団体のチラシ、報告などを収集、整理する。
- ・ 青少年の学習成果を情報として取り込む。
- ・ まちづくりの取り組みとしての、商店街の活性化
- ・ レファレンス機能の強化

(方法)

- ・ 市民発の情報を発信として、自分史づくりを手伝うことで、情報を作ってゆく。
- ・ チラシ置き場の配備、収集資料のデジタル化
- ・ 教員の教材作成をサポートする
- ・ 商店街との連携
- ・ 総合案内を設置し、どこへ行けば情報にアクセスできるのかが分かるように
- ・ 図書館司書と、市民活動フロアのスタッフの緊密な連携

【グループ6】

(取り組み)

- ・ さまざまな年齢層のニーズに沿った、語り合いの場
(例：遺言の書き方、認知症の理解、成年後見人制度の理解、公園デビューの話、就職活動の不安のほか、社会不安について語りたい)
- ・ 若者が自由に集まり、自由に活動を考える場づくり
- ・ 地域の穴場情報の発信
- ・ 会社帰りの親父の情報交換、仲間あつめ

- ・ 地域で発生した問題の共有化
- ・ NPO 運営の情報交換
- ・ 読書カードの掲示をはじめとする、図書館との連携

(方法)

- ・ 茶話会や交流会、しゃべり場などの、交流の場を設ける
- ・ 市報に、プレイスの活動を発表する場を設けたという告知をする。
- ・ 時間拘束のない情報発信
- ・ いつでも相談にのれる方の情報
- ・ メンバー募集の情報をフリーな掲示板に
- ・ さまざまな情報、意見を排除しない(特に青少年、若年層)

【グループ7】

(取り組み ～現時点でできていないこと～)

- ・ コミセンの掲示板に貼ってもらえない
- ・ 市報に掲載できない→掲載してもらえる団体は決まっている
- ・ チラシをお店に置いてもらえない
- ・ 集客に困っている

(具体的な方法)

- ・ 雑記帳、掲示板、交換日記
- ・ 図書館との連携で、関連する行事の時に便乗する
- ・ タレントバンク、タレントコーディネーター
- ・ 口コミ

(4) アドバイザーのコメント

- ・ 本来、「情報」とは、互いに行き来することで生きてくるもの。双方向性のやり取りの中からは「共感」が生まれる。
- ・ 「この指とまれ」方式を、中高年向け情報誌の中で実践した東京の団体があった。それをはじめたところ、東京のみならず、全国から反響があった。反響のあった他地域に赴き、その様子を再び情報誌に掲載することで、更に購読者が増えた事例がある。誌面上において、双方向の情報のやり取りを行ったことが、こうしたことにつながった。
- ・ 口コミが生きてくるためには、「顔の見える関係」が大切になってくる。
- ・ 動画の有用性。動きが伴うため、「口コミ」に近い部分がある。

次第3：事務連絡ほか

次回の予定

- ①日時：平成22年4月15日（木）18:30～20:30
- ②場所：武蔵野スイングビル10F スカイルーム

閉会

閉会后～ワークショップ実行準備会打ち合わせ

参加者：市民15名、事務局2名、アドバイザー

内容：

(1) ニュースレターの作成について

各回ワークショップの後に、内容をまとめたニュースレターを編集し発行することとする。編集はワークショップ実行準備会、発行者は武蔵野プレイス開設準備室。今回（第3回ワークショップ）の編集は天野さんに決定。

(2) チラシ作成について

次回のワークショップ参加者募集チラシを準備会のメンバーが作成することについて、事務局提案があったが、希望者不在であった。次回以降も作成希望者を募っていくこととする。

(3) 次回実行準備会の日程について

- ①日時：平成22年4月7日(水) 19:00より
- ②場所：武蔵野公会堂第1会議室

1班 関、田村、石井、中村、天野、今井

取り組み	方法
<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー同士のつながり ・困ったとき必要な情報 (障がいなどに関する得られにくい情報) ・プライバシーを確保した相談をしたい ・ここでしか得られない ・あたたかい情報の伝え方 ・この指とまれ ・市民活動への参加 ・一人で抱え込んでいる人へ 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人でもチラシが置ける ・HPへの情報掲載 ・市の後援なくてもいい →それに応じた設備 ・情報を仕分けできるスタッフ ・ネットからではなく、人とのつながり (正しくて新しい情報であること) ・市民活動団体・グループ集団相談会 ・居場所（用がない人もくる） ・楽しさがないと来ない ・若者の取り込み

2班 安藤、栗原、田中、長田、向田、武田

取り組み	方法
<p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化を創造する ・ 文化を発信する <p>【情報の蓄積】</p> <p>【情報の利用・発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館とつながりを持たせる ・ 生涯学習、青少年フロアともつながりを持たせる ・ ブラウジング ・ 学習の場とする ・ 知識を創造する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各フロアと定期的に全体会議を行う。 ・ 活動団体の洗い出しをする ・ 各団体の活動報告を集める ・ プレイスの核となるビジョンを共有する ・ データベース化が必要である ・ 電子掲示板で他のフロアでも市民活動フロアのこと わかるようにする ・ 図書館にも市民活動情報コーナーをつくる ・ 1階展示スペースでイベントの告知をする ・ 個人団体の持つ知識、スキルの提供をする ・ 団体財産(本・情報)の公開の場とする ・ 展示場所を設ける ・ チラシを置くスペースを設ける ・ コンシェルジュを活躍させる ・ 街の中の活動につなげる ・ 人をつなげる ・ カフェをつくり、活動の紹介、人をつなぐ ・ 市民団体の持つ資料を必要として人に提供する ・ 個人の知識、経験を皆の財産として生かす ・ 本だけでなく人から学ぶ

3班 山口、赤保谷、酒井、蓬田

取り組み	方法
<p>【収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (各種) 講座の情報が得られる ・ 市内 NPO 団体の動向を知りたい ・ 市(役所)のもっている情報を提供してほしい ・ 子どもと大人の情報がほしい ・ 大学がもっている専門情報 ・ 商店街やまちの情報 ・ 他市他県に同じような団体がいるか ・ 同じような活動をしている団体を知りたい ・ 市内の人材を紹介してほしい ・ ホームページの活動 ・ 助成金を出している団体情報 ・ 助成金をもらうためのプレゼンの方法や成功の秘訣 ・ 活動資金をどうやって得ているのか？ <p>【発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体を紹介できるものが置ける ・ 公開講座など、一般の人も対象にしたイベントの広報 ・ プレイスで体操の場、仲間がほしい、発信する ・ 団体の活動に参加してくれる人を募集すること ・ 教室を開催するのに、プレイスの力が必要です ・ スポーツの情報の公開(アーチェリーの活動) ・ 市以外にも団体の情報を PR したい <p>【集積してほしい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体運営についてのコツのようなものが各団体から蓄積されるといい ・ 情報集積ヒト、活動 ・ 市民活動コアの利用者、利用方法の情報集積 <p>【交流したい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者同士が交流することで得られる生の情報がほしい ・ 遠隔地と(テレビ電話のような)PC (SKYPE な)を使った情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の最新情報を掲示する ・ カテゴリー別に団体のファイルを設置して自由に見る ・ インターネットで常時見ることができる ・ インターネットを使った情報習得の方法を教えること ・ 会議にも使える PC ・ 障害のある人も情報がとれるための機器 ・ 市報とホームページはプレイスで ・ 方法は市報でお願いします <ul style="list-style-type: none"> ・ 日替わりで専門家が居る ・ リーフレット、チラシなどの印刷物 ・ 印刷機、コピー機、製本機 ・ 印刷物を置けるラック <ul style="list-style-type: none"> ・ 動画で情報を発信する ・ 掲示板 ・ パネルに団体のチラシを自由に展示できる ・ 活動内容は用紙で発信できる <ul style="list-style-type: none"> ・ 古くなっている情報を適宜更新できる仕組み ・ 入口のカウンタを PC で利用者の意見を聞く会 ・ 活動費用には民間会社の補助金が必要 それにはプレイスで <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体間の交流会 ・ キーワード別(ときにはミスマッチ)の交流会を行う ・ メール交換が必要 ・ プレイスでフリーマーケットを行う ・ 各自の本を持ち寄って交換する

4班 今村、木谷、西園寺、高橋、三田

取り組み	方法
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きなもの(目的) ・ このまちをどうしたいのか? ・ 子どもたちにどんな環境を残すのか ・ むさしのプレイスをどういうものにした いのか? ・ 前に進む機能 ・ ありきたりの施設にしない ・ ありきたりの施設とは?(コミセン等と の違い) ・ 施設自体はありきたりでもいいけど、 人や課題解決への追求姿勢は大事 ・ 相談役・コーディネーター ・ ニーズに沿った伝達 ・ ニーズに合った使い方のできる施設 ・ そこに行けば伝えられる ・ アナログなつぶやき・ブログ ・ 自由に使えたらいいね! ・ コミセンの価値・目的がわかりづらい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手持本の持ち込み&コメント交換 ・ ここにすれば、街の使い方がわかる。 ・ まちの情報マップ(情報がたまって行く/ 都市伝説なども・・・?) ・ 街のインフラ(ソフトもハードも)を使いこ なすために・・・ ・ みんなの便利帳の市民活動バージョ ンのようなもの(問題を意識ー共有ー共 感ー活動ー解決の循環をつくっていく ための便利帳的なフロア) ・ 市民への手紙(市長への手紙ではな くて) ・ この指とまれ、意見の表明コーナー ・ アナログなネットワークをつくれる環境

5班 栗田・高橋・小林・木村

取り組み	方法
<p>【情報収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種情報源の整備 ・ 情報交換しやすいしくみづくり ・ 情報伝達機能の整備 ・ 「市民発」の情報も <p>【他組織・機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ VCM ・ コミセン ・ 福祉センター ・ むさしの FM ・ 市民会館 ・ 市政資料とリンク <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民活動団体同士の情報交換の場づくり ・ 市民活動情報の発信 ・ 市民活動情報を他の図書館へつなぐ <p>【青少年・若者からの発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年の学習成果を情報として取り込む <p>【まちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりと商店街活性化 <p>【図書館機能とのリンク】</p>	<p>【情報収集】</p> <p>情報の整理・分類・データベース化 どこが責任を持つ？</p> <p>自分史づくりを手伝う</p> <p>【他組織・機関との連携】</p> <p>VCM の支所機能を持たせる 団体情報・チラシ類を各機関に置いてもらう むさしの FM をもっと聞く NPO 関連の文献・白書・報告書類をそろえる 市政資料のデータベース化</p> <p>【情報発信】</p> <p>団体の報告・チラシなど市民活動情報を網羅的に収集 収集資料のデジタル化 チラシ置き場をつくる(見やすい、とりやすい)</p> <p>【青少年・若者からの発信】</p> <p>学校のイベント情報 学校へ呼びかける(部活・サークルなどへも) 教員の教材作成をサポート</p> <p>【まちづくり】</p> <p>商店街との連携(特売情報なども)</p> <p>【図書館機能とのリンク】</p> <p>知りたい・調べたい総合案内 ギャラリーと図書部分の活用 レファレンスの充実 情報整理への協力・助言 司書の配置と一緒に研修 司書と 3F スタッフとの連絡体制を密に(各フロア間の連携)</p>

6班 高石、染谷、蓬田荘、畑中

取り組み	方法
<ul style="list-style-type: none"> ・FP関連事項 ・成年後見人制度の理解 ・遺言の書き方の要点 ・認知症の理解と対応 ・相続問題の理解と解決策 ・設計の立て方 ・リスク関連の問題 ・認知症の理解と予防・対応 ・オレオレ詐欺からの防衛 ・社会からの閉塞感の解決策 ・図書・文献等の検索手段の設定 ・教育問題 ・公園デビュー出来ない若い母親の意識改革 ・不登校児童の理解と援助策 ・放課後宿題等を見る(塾のかわり) ・就職活動の援助 ・社会性の育成 ・居場所がない青少年の活動支援 ・中高年の共通趣味参画の支援 (おやじバンド等) ・生活情報の提供 ・若者に共通活動拠点を提供 ・食育の向上 ・情報交換の場を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会・相談会の開催 ・ワークショップの開催 ・相談コーナーの設置 ・サークル募集コーナーの設置 ・情報提供ブースの設置パソコン利用も可 ・新刊の紹介と図書館との連携 ・同好会結成の手助け ・直近の話題をテーマに討論会を開催 ・茶話会・交流会の開催 ・市報にプレイス活動欄を設定 ・居場所の提供 ・公開投書箱の設置

7班 木下、多田、佐藤

取り組み	方法
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の関心について集約する ・ 地域情報集約 ・ 情報を集中させる →ここにすればすべてが分かる ・ 図書館との連携 ・ 旬の情報を集める ・ 若い人は、PCより携帯 ・ 情報、取り組みを相談できる ・ コーナーをつくり分かりやすく ・ 図書があるだけでなく、グループ(主題で分けたコーナー)も欲しい ・ 思いがけない情報に出会う ・ 自分がほしいと思った情報に、効率よくアクセスできる ・ 情報を得るためにネット検索を利用できると嬉しい ・ イベントを伝える ・ イベントを知る ・ NPO同士で交換日記交流 ・ いろんな団体とネットワークを結べる ・ テーマに沿った団体を知る ・ そばで打ち合わせ中の団体が、どんな団体かわかる ・ 情報がただのDATAや集めて一安心でなく、するための整理法の講習など ・ HPの作り方講座 ・ テーマに沿ったイベント(新しい発見のため) <p>【普段活動する中で困っていること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミセンの掲示板に貼れない ・ チラシをお店においてもらえない ・ 市報に掲載できない ・ HPなかなか見てもらえない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝言板 ・ TV、紙芝居 ・ 机に固定した雑記帳 ・ スクロールとクリックだけで情報が見られるHP ・ (インターネット)SNSを作る ・ メール発配信 ・ レター、ニュース、ビデオ ・ 口コミ <p>【伝言板】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人、グループが常に発信できる掲示板があると良い。 ・ やりたいデス！広告 ・ 求人広告 <p>【ヒト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タレントバンク ・ タレントコーディネーター